2026年11月13日

各　位

上 場 会 社 名　株式会社日本ピグメントホールディングス
代　表　者　名　　代表取締役社長　　田代　喜一
（コード番号 4119 東証スタンダード）
問合せ責任者　　財務・経理部 IR担当　　梶　英俊
（TEL　０３－６３７０－８４１２）

第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

2026年５月14日に公表しました2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2027年３月期通期連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 第２四半期（中間期）累計期間の業績予想と実績値の差異

(1) 2027年３月期第２四半期(中間期)連結累計期間の業績予想と実績との差異(2026年４月１日～2026年９月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）	21,200	600	800	600	382.27
実績値（Ｂ）	21,686	1,217	1,458	1,085	691.37
増減額（Ｂ－Ａ）	486	617	658	485	－
増減率（％）	2.3	102.9	82.3	80.8	－
（ご参考）前中間期実績（2026年３月期中間期）	20,047	405	423	347	221.12

(2) 差異の理由

第２四半期（中間期）連結累計期間においては、日本国内では、中東情勢の影響から一部顧客の在庫積み増し・前倒し調達の動きによる一時的な需要増に加え、原材料価格やエネルギーコストなどの上昇分について適切な価格改定の実施や経費圧縮の効果が表れました。また、東南アジア地区では、価格改定による収益の改善や自動車産業、家電産業向けなどの受注が堅調であったほか、中国においても、中国国内企業向けの販売が堅調であったことから第２四半期（中間期）の業績は当初の予想を上回る結果となりました。

2. 通期業績予想の修正

(1) 2027年３月期通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	43,500	1,700	1,900	1,300	828.26
今回修正予想（Ｂ）	44,500	2,300	2,600	1,800	1,146.96
増減額（Ｂ－Ａ）	1,000	600	700	500	－
増減率（％）	2.3	35.3	36.8	38.5	－
（ご参考）前期通期実績（2026年３月期）	42,224	1,509	1,797	1,159	738.43

(2) 修正の理由

第２四半期（中間期）連結累計期間までの業績は先行調達需要などにより受注が伸長しましたが、その後も顧客需要は堅調に推移しており、価格改定効果の定着も進んでいることから、通期業績は従来予想を上回ることを見込んでおります。

以上から2027年３月期通期連結業績予想につきまして上記のとおり修正いたします。

(注)業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	１株当たり配当金		
	第２四半期末	期末	合計
前回予想（2026年５月14日）	―	100円00銭	100円00銭
今回修正予想	―	180円00銭	180円00銭
当期実績	―	―	―
前期実績（2026年３月期）	―	120円00銭	120円00銭

(注)2026年３月期配当金の内訳 普通配当 100円00銭　記念配当 20円00銭（創業100周年記念配当）

(2) 配当予想修正の理由

当社は、2026年５月14日に公表した中期経営計画において、安定配当を基本としDOE1.0%以上を目標とするとともに、業績に応じた利益配分による持続的な株主還元の強化を掲げております。

当期の業績が当初想定を上回る見通しとなったことを踏まえ、当期（2027年３月期）の配当予想につきましては、前回予想から80円増配の１株あたり180円 に修正いたします。

以　上